

公共施設 64 施設 総延床面積：84,716 m² ※丸数字は写真番号

【分類】	【例】
町民文化系施設	福祉会館…①、中央公民館、東公民館…⑤、もろびとの館 等
社会教育系施設	図書館、歴史民俗資料館
スポーツ・レクリエーション施設	総合公園、大類グラウンド（管理棟、公衆トイレ等）、ゆずの里オートキャンプ場…③ 等
産業系施設	農産物加工研修センター
学校教育系施設	毛呂山小学校…④、川角中学校…⑥、学校給食センター 等
子育て支援施設	旭台保育園、ゆずの里保育園…⑧、泉野学童保育所、児童館 等
保健・福祉施設	老人福祉センター山根荘、デイサービスセンター、保健センター
行政系施設	役場庁舎…⑦、消防団詰所、防犯活動センター、防災備蓄倉庫 等
公営住宅	町営中町住宅…②、町営上宿団地、町営杉ノ入団地
公園	前久保中央公園（防災備蓄倉庫兼公衆トイレ）、いせはらふれあい広場（公衆トイレ） 等
供給処理施設	大谷木処理場、葛貫第一処理場
その他	あいあい作業所、滝ノ入あいあい作業所、武州長瀬駅自由通路 等

※施設の種類については「公共施設等更新費用試算ソフト」の分類に準拠

町の公共施設の種類と総量は？
 町が保有する公共施設で、本計画の対象とした施設は全部で64施設あり、延床面積は約8万5000m²になります。その種類（機能）と主な施設は上の表で示したとおりですが、住民ニーズへの対応、公共サービスの提供といった役割を担っています。
 総量は他の自治体と比べて多いのか少ないのか。延床面積だけでは理解しにくいかと思います。一つの目安として、延床面積を人口で割り、一人あたりの面積を算出すると、その大きさは2・48m²※となります。埼玉県内の町村の平均は

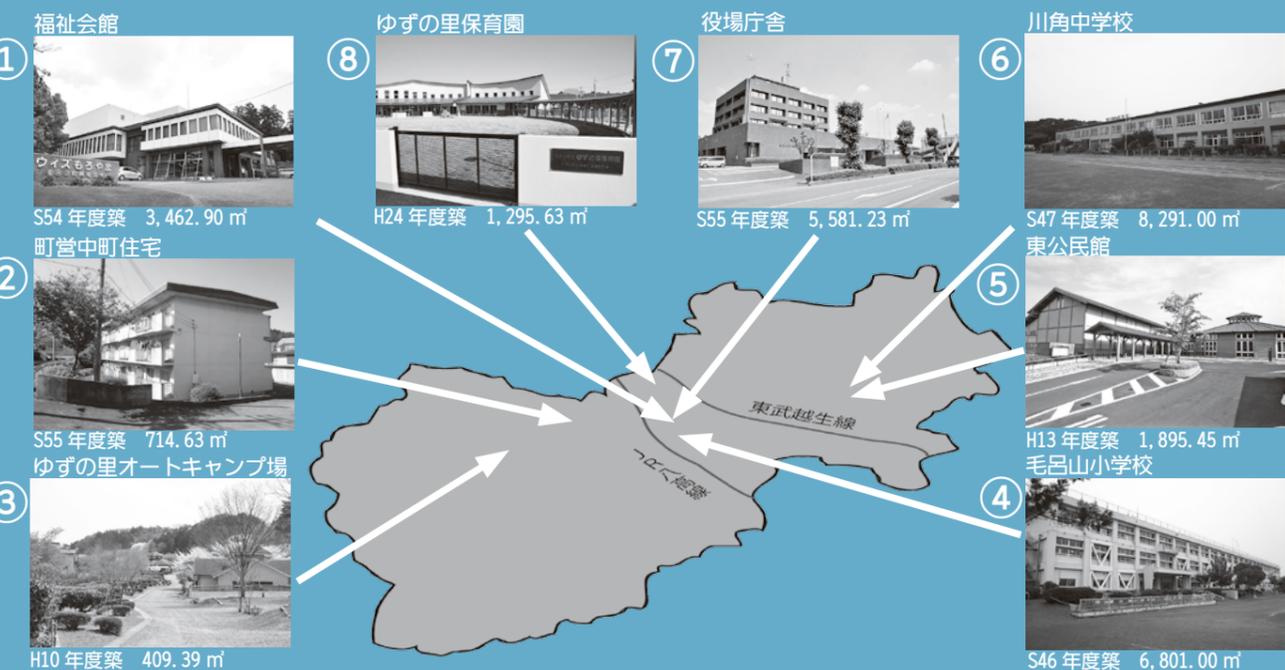
3・03m²ですので、毛呂山町は平均を下回っており、決して多いというわけではありません。
 とはいえ、先月号でもお伝えしたとおり、人口減少に伴い利用者も減り、維持管理に係る負担が増大することが予想されます。今後の人口推移を考慮しながら、かつサービスの低下を極力抑えて、公共施設の総量や構成を考えていく必要があります。
 次号では、分類別の割合について、建築年度別の整備状況について説明します。

※他の自治体と比較するため、平成27年度「市町村公共施設概要」を用いて算出しています。

未来のために 公共施設等総合管理計画

問合せ
 役場企画財政課企画係
 ☎049(295)2112 ⑨323

※各施設の面積は延床面積を表しています。



町の無料相談

相談種類	日にち	時間	相談場所	申込み・問合せ	
法律相談	弁護士	8/8(火)、28(月)	13:30 ~ 16:00	役場会議室	役場総務課 ☎⑨313 (要予約)
	行政書士	8/16(水)	10:00 ~ 15:00	役場会議室	役場総務課 ☎⑨313
人権・行政相談	8/10(木)	13:30 ~ 16:00	役場会議室	役場総務課 ☎⑨313	
入間西障害者相談支援センター出張相談会	奇数月の第一水曜日	10:00 ~ 12:00	役場相談室	役場福祉課 ☎⑨116・117 ☎049(295)2126	
成人健康相談	8/9(水)	9:30 ~ 11:30	役場町民ホール	保健センター ☎049(294)5511	
電話健康相談	平日	9:00 ~ 17:00	保健センター ☎049(294)5511		
もの忘れ相談会	毎月第3木曜日	10:00 ~ 12:00	中央公民館	役場高齢者支援課 ☎⑨115	
子育て相談 なんでも話してみよう	8/4(金)	10:00 ~ 11:00	役場相談室	子育て支援センター ☎049(294)4820	
	8/18(金)		子育て支援センター		
教育相談	平日	10:00 ~ 16:30	教育センター ☎049(295)2525	(電話相談可)	
心配ごと相談	毎週水曜日	10:00 ~ 12:00	社会福祉協議会(ウィズもろやま内)	☎049(295)3111	
消費生活相談	毎週火曜日	10:00 ~ 15:00	役場相談室	役場産業振興課 ☎⑨214	
生活困窮者自立相談 ※生活保護受給者以外	平日	8:30 ~ 17:00	アスポート相談支援センター埼玉西部毛呂山出張所 (ウィズもろやま内) ☎080-2274-1445		

歴史散歩

第278回

大山講と大山灯籠
 ~大山へ導く灯火~

相模大山(神奈川県伊勢原市)は、「雨降山」とも呼ばれ、雨乞い、農耕の神として人々の信仰を集めました。気軽に登拜できる大山は、御師による布教により、信仰の山として親しまれています。
 江戸時代になると、人々は大山講と呼ばれる信仰集団を組織し、代表が参詣する「代参」という方法で大山詣を行いました。毛呂山町の各地区でも、大山講を組織して、大山へ参詣しました。
 毛呂山町で行われた大山講では、雨乞いの祈願だけでなく、地区によっては、山仕事の安全を祈願や毛呂山ゆかりで、幕末から明治期に活躍した勤王の志士権田直助(毛呂本郷出身)とゆかりがあることから、出世祈願を行っていました。
 また、大山開きにあたる6月下旬から7月中旬に、道案内のための大山灯籠に火を灯しました。
 町内の各地区でも大山灯籠を立てていますが、現在も大山灯籠を立てている地域



星宮神社脇に立てられる大山灯籠 (下川原地区)

は少なくなりました。
 現在でも下川原地区では、大山開きの時期に合わせて、星宮神社の鳥居脇に、下川原地区の有志によって、灯籠に明かりを灯しています。
 地域で行われている信仰の形が、地域住民の絆を深める場として、今も引き継がれています。